

「日々の理科」(第2012号) 2020,-1,12

「長谷のストーン・ショップ(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

江ノ電は乗っているだけでも楽しい。海や山が見えるし、単線の線路は民家の軒先をかすめながらゆっくり走る。特に紫陽花の時期はすばらしい。



フリー切符なら、一日中乗り降り自由なので、途中下車してみたい駅がたくさんある。自動車と一緒に路面を走る「腰越駅」、海と江の島が目の前に見える「鎌倉高校前駅」などだ。



極楽寺駅もなかなか良い。何か山小屋のような駅で、絵になる。極楽寺駅は北・西・東を山に囲まれていて、極楽寺駅を出た鎌倉行の電車が、江ノ電唯一の「極楽寺トンネル」に入っていくのを見られる。

しかし一番見どころが多いのは「長谷駅」だと思う。長谷といえば「鎌倉大仏」と「長谷観音」が有名だが、「立ち寄りずにはいられない」すばらしいお店もある。一つは駅近くの「プリン屋さん」だ。



長谷駅は江ノ電の駅の中でも、特に乗降客が多く、いつも賑わっている。写真の人が渡っている踏切は、駅の改札内の踏切で、手前の踏切は公道(県道)だ。改札を通らずに行き来できないように、線路に「トゲトゲシート」が敷いてあるのが面白い。



これが長谷駅から少し海側に行ったところにある「プリン屋さん」この手作りプリンは、猛烈においしいので、必ず寄るお店だ。この日は残念ながら「開店中」なのに「外出中」だった。



そしてもう一つのお店がこの「ストーン・ショップ」中には、凄まじい数の鉱物、貴石、それに化石類が並んでいる。私は自然に「吸い込まれて」しまった。